

小学校でセアカゴケグモを発見

平成21年10月22日、下京区の小学校でセアカゴケグモが発見されました。下京保健所と合同で駆除を兼ねた調査を実施しました。幸いなことに、最初に確認された雌個体のみで、他の個体は見つかりませんでした。

危機一髪

今回、発見されたセアカゴケグモは、校庭のジャングルジムに営巣していました。一つ間違えばかまれる事故が起こっても不思議ではない状況でした。事故を防げたのは、児童がセアカゴケグモのことを知っていたからでした。「背中の赤い毒クモがいる」と先生に連絡し、先生がセアカゴケグモを採取しました。先生が来るまで数人の児童がセアカゴケグモを逃がさないように取り囲んでいたそうです。もし、この児童がセアカゴケグモのことを知らなければ、児童の誰かがジャングルジムで遊んでいるうちに事故に遭っていたかもしれません。危機一髪でした。

セアカゴケグモが発見されて日本中が混乱状態に陥ったのは、平成7年のことです。新聞やテレビ番組などでセアカゴケグモについての特集が企画され、盛んに報道されました。今回、セアカゴケグモを発見した児童は、当時のことを知る由もないことから何らかの情報でセアカゴケグモのことを知っていたのでしょうか。被害防止のためには、より一層の啓発活動が重要であると思いました。

大阪府下の現状

平成7年11月に大阪府下の高石市で大量のセアカゴケグモが生息していることが報道されました。その後、大阪府や大阪府下の市町村では、生息調査や被害状況の調査を行っています。大阪府のホームページにセアカゴケグモの個々のかまれる被害の事例を紹介しています。被害の件数は、表のとおりです。最初は、散発的であった被害も、この数年確実に増加してきています。

表 大阪府下の被害状況

年	被害数
平成 7 年	0 名
平成 8 年	0 名
平成 9 年	1 名
平成 1 0 年	0 名
平成 1 1 年	0 名
平成 1 2 年	0 名
平成 1 3 年	1 名
平成 1 4 年	0 名
平成 1 5 年	0 名
平成 1 6 年	1 名
平成 1 7 年	1 名
平成 1 8 年	6 名
平成 1 9 年	6 名
平成 2 0 年	9 名
平成 2 1 年	1 2 名

平成21年10月27日現在

特にこの数年の増加は、顕著です。これは、セアカゴケグモが急激に増加していることを意味します。また、大阪府のホームページでは、平成19年の生息調査の結果を掲載しています。大阪府北部の能勢町、豊能町以外の大阪府府下のすべての市町村においてセアカゴケグモの汚染が確認されています。また、近畿圏でも各地からセアカゴケグモが確認されたとの報告が次々とあります。

京都市の最近の状況

京都市においても、平成18年10月に南区と伏見区で発見された後、平成19年、平成20年は、新たな生息が確認されませんでした。ところが、平成21年に入り、5箇所で見つけられています。いずれも市民の方や土地の管理者からの通報によるものでした。1箇所では、セアカゴケグモの雌成体15個体、幼体17個体及び卵のうち2個が見つかり、定着していたことが確認されました。残りの4箇所は、雌1個体のみの確認で、定着しているかどうかは未確認です。しかし、こうしたセアカゴケグモの発見例が頻繁に起こっているということは、既に京都市内が高濃度に汚染されていることを意味しているのかもしれません。



発見された雌成体(背面)



発見された雌成体(腹面)



発見された場所

巣があった場所